

ISSN-1348-8872

AMAMI News Letter

NO.24



■研究調査レビュー

島尾敏雄の南島論

奄美調査日誌

【書評】『奄美の多層圏域と離島政策』（山田誠・編著，2005，九州大学出版会）

【書評】鹿児島県地方自治研究所編

『奄美戦後史－揺れる奄美，変容の諸相－』（南方新社，2005年）

【エッセイ】ぎをゆな考

■しまゆむた

知名町上平川集落の上平川大蛇踊り

奄美ニューズレター

鹿児島大学

2005年11月

■Research Review

- 1 'Essays on Nantō' by Shimao Toshio
Hirose Shin-Ya (LEH)

- 8 Research Notes on the Amami Islands
Shinohara Takahiro (LEH)
Takemura Gō (Doctorate Student, Graduate
School of Humanities and Social Sciences)

- 19 The Multifaceted Amami Islands and Their
Effects on Island Policies (Edited by Yamada
Makoto, Kyushu University Press)
Shimomura Ken-Ichi (Research Institute for
Economics & Business Administration, Kobe
University)

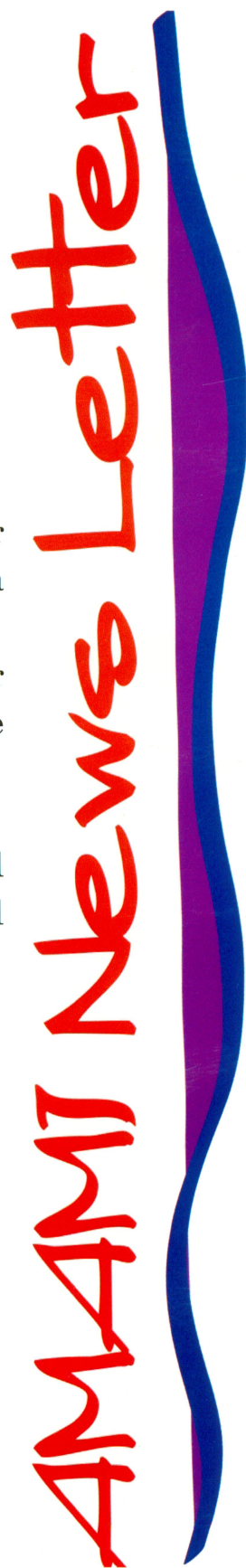
- 20 "Postwar History in the Amami Islands" edited
by Kagoshima Research Institute for Local
Government
Reviewed by Kitazaki Kōji (LEH)

- 24 Thoughts on "Gi o yu na"
Ishikawa Hideaki (LEH)

- 26 *Daija-Odori*, a Traditional Dance from
Kamihirakawa, China-chō
Saitō Miho (Okinoerabu Study Group)

■Information

KAGOSHIMA UNIVERSITY



奄美ニューズレターについて

- 奄美ニューズレターは、2003年度からはじまった鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のグランドデザイン――南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表する目的で発刊されました。
- 奄美群島および沖縄を含む広い南西諸島を沖縄ではなく、奄美群島から分析しようという新しい試みです。
- 研究は、文化・自然・人・経済・情報・農学・工学という鹿児島大学の研究者を中心とする研究グループによって行われております。奄美ニューズレターは、その研究を広く南西諸島の研究者に公開し、わが国の島嶼研究の向上を目指すものです。
- 奄美ニューズレターは、月刊の学術雑誌であり、下記の内容を毎号掲載いたします。

- ・ 研究調査レビュー 鹿児島大学研究グループの成果発表
- ・ しまゆむた 奄美群島区の地元研究者からの現地レポート
- ・ 島嶼スケッチ 上記以外の寄稿文
- ・ 鹿大資料紹介 鹿児島大学所蔵奄美資料の紹介
- ・ ちーびし 執筆者紹介、奄美関連の行事案内、編集後記

- 奄美ニューズレターの執筆研究グループは以下のメンバーです。

研究代表 山田 誠（法文） 編集代表 萩野 誠（法文）

- 島嶼のなかの人々、人々のなかの島嶼（資源としてのヒト）
◎神田嘉延（教育）・小柳正司（教育）・狩野浩二（教育）・前田晶子（教育）
- 島嶼における情報ネットワーク（資源としての情報）
◎萩野 誠（法文）・下園幸一（法文）
- 自然環境と開発ポテンシャルA（資源としての自然）
◎北村良介（工学）・地頭蘭隆（農学）・西隆一郎（工学）
- 自然環境と開発ポテンシャルB（環境保全型自立産業としての農業生産）
◎菅沼俊彦（農学）・津田勝男（農学）・遠城道雄（農学）
- 歴史の変容と開発
◎新田栄治（法文）・糸尾達哉（法文）・原口 泉（法文）・中村直子（埋文）
- 産業・経済の変容と開発
◎皆村武一（法文）・宮廻甫允（法文）・北崎浩嗣（法文）・山本一哉（法文）
- 社会意識の変容と開発
◎石川英昭（法文）・木村 朗（法文）・平井一臣（法文）・米田憲市（法科大学院）
- 文化意識の変容と開発
◎廣瀬晋也（法文）・木部暢子（法文）・桑原季雄（法文）・高津 孝（法文）
- 島嶼コミュニティと環境ガバナンス
◎篠原隆弘（法文）・采女博文（法科大学院）・土居正典（法科大学院）・西啓一郎（鹿児島県庁）
- 島嶼圏政治行政システムと環境ガバナンス
◎山田 誠（法文）・朴 源（法文）・坂田裕輔（近畿大学）・前利 潔（知名町）

目次

■研究調査レビュー

島尾敏雄の南島論

廣瀬 晋也（鹿児島大学法文学部）—————1

奄美調査日誌

篠原 隆弘（鹿児島大学法文学部）

竹村 剛（鹿児島大学大学院人文社会科学研究科）—————8

【書評】

『奄美の多層圏域と離島政策』（山田誠・編著，2005，九州大学出版会）

下村 研一（神戸大学経済経営研究所）—————19

【書評】

鹿児島県地方自治研究所編

『奄美戦後史－揺れる奄美，変容の諸相－』（南方新社，2005年）

北崎 浩嗣（鹿児島大学法文学部）—————20

【エッセイ】

ぎをゆな考

石川 英昭（鹿児島大学法文学部）—————24

■しまゆむた

知名町上平川集落の上平川大蛇踊り

斉藤 美穂（沖永良部郷土研究所）—————26

■ちーびし—————34